

令和2年度（2020年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業（釧路地域）について

釧路総合振興局環境生活課

1 契約期間等

- (1) 北泉開発株式会社
- (2) 契約期間 令和2年7月29日～令和3年1月12日
- (3) 実施場所 釧路市春採3丁目 春採公園市民の森（メッシュ番号 ソ333）
- (4) 捕獲手法 囲いわな
- (5) わな設置期間 令和2年9月2日～令和2年12月21日

2 捕獲状況

- (1) 捕獲回数10回
- (2) 捕獲頭数14頭（オス 6頭、メス 8頭）
 ※上記頭数のうち、12頭を食肉用として有効活用予定、1頭にGPS発信器を装着し放獣、残り1頭が減量化処理。

月	捕獲頭数	捕獲回数	オス	メス
9月	9頭	6回	3頭	6頭
10月	2頭	1回	0頭	2頭
11月	0頭	0回	0頭	0頭
12月	3頭	3回	3頭	0頭

(3) 位置図等





本事業で捕獲した 14 頭のうち、12 頭は移送中も問題なく、一時養鹿場への搬入後も問題なく現在も一時飼育されている。今後、食肉用として有効活用する。原皮についても函館の業者が引き取り毛皮として、また食肉処理後の残滓の一部（内蔵）についても鶴居村役場にてカラスわな用の餌として有効活用される。

市街地での囲いわなによる捕獲事業は 2 回目で、非積雪期前の 9 月から捕獲ができた。昨年度より 1 ヶ月実施時期が早いことが原因か定かではないが、ハーレムを形成される前の捕獲となりオス鹿ばかりの出没がみられた。

事業実施中、設置した定点カメラで、この市民の森にはオス 7 頭、メス 8 頭の 15 頭の群れが確認でき、事業終了後にここに居ついている個体はオス 2 頭を思われる。（うち 1 頭が GPS 発信器装着個体。）

春採公園市民の森では、令和元年度から捕獲事業を続けて、合計で 34 頭捕獲された。釧路市・道総研（道東室）・振興局の 3 者合同で平成 30 年度から仕掛けている定点カメラによると、当該公園内限定ではあるが、事業実施前後では、カメラの撮影枚数や捕獲の群れサイズが減少している。

ここ数年、雪不足の影響で、各地域で実施している囲いわなによりエゾシカ捕獲頭数は減少傾向にあるが、市街地でのエゾシカの囲いわなにより捕獲は、積雪に左右されず捕獲が可能であり有効であったと考えられる。

R2 指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定調査（GPS 調査）委託業務（速報②）

NPO 法人 EnVision 環境保全事務所

12月16日釧路市でGPS首輪を装着した個体の行動追跡速報を記す。
対象個体は、引き続き釧路市内の住宅地周辺を利用している（図1、図2）。

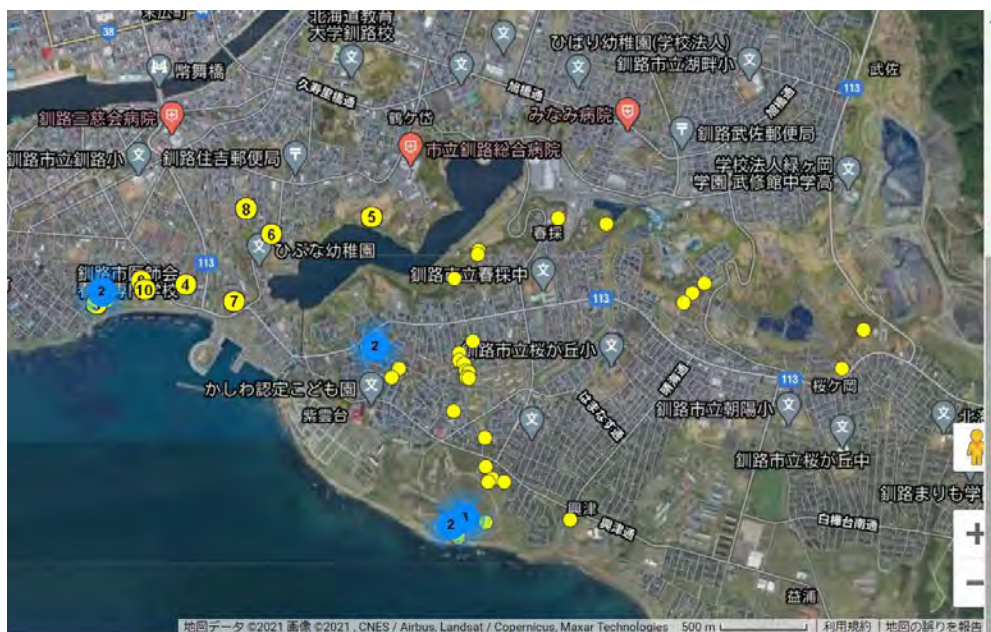


図1. 1月7日までの測位位置（3時間に1回測位）



図2. 測位位置を時間順に結んだ線